

平成27年度助成決定一覧表

A. 博物館学芸員等の内外研修に対する助成

助成額 1件/200,000円以内

応募:16件 決定:11件

(敬称略)

番号	氏名	所属機関【都道府県名】	研修テーマ	研修施設名
		役職名		研修期間
1	村田 晃一	宮城県教育庁 文化財保護課 【宮城県】	『日本古代城柵の検討—律令国家の東西に置かれた城郭の比較』 古代日本の東西には、特有の城郭がつけられた。東辺は、蝦夷支配を行うため軍事・政治・行政機能を有するが、西日本は異国の来襲に備えたものである。設置目的の違いは、施設の立地や構成要素、存続期間などにあらわれる。こうした古代国家の東西につくられた城郭を、考古学的に比較・検討することによって、律令支配の一端を具体的に明らかにしたい。	岡山県鬼ノ城跡、香川県屋嶋城跡他
		技術補佐		11/23～28、 12/10～14
2	四角 隆二	岡山市立オリент美術館 【岡山県】	『メソポタミア出土の3～7世紀のガラスの調査—サーサーン・ガラスの実態解明に向けて—』 1960年代以降、古物市場に流出した華麗なカットガラスで知られるサーサーン・ガラスの実態解明に向け、大英博物館所蔵メソポタミア出土ガラス資料の資料化研究を行う。イラン由来博物館資料と比較検討した成果は、岡山市立オリент美術館での展示活動などに還元する。	大英博物館
		副主査学芸員		1月末～2月初旬
3	内山 淳一	仙台市博物館 【宮城県】	『江戸時代における鷹狩関係絵画資料の調査研究』 従来、風俗画や花鳥画に分類されてきた鷹狩に関わる絵画資料を、幕藩体制下において主従関係を確認し合う重要な催事であった鷹狩の盛行という観点から捉え直すことにより、歴史研究の欠を補うとともに、鷹狩の民俗的な保存活動に寄与する。	東京国立博物館、茨城県立歴史館他10箇所
		副館長		11/1～1/31の 6日間
4	村上 一馬	東北歴史博物館 【宮城県】	『狩猟関係資料の比較—盛岡藩日記と近現代民俗資料から』 東北地方の近現代狩猟関係資料を、歴史民俗学的な手法によって調査する。これまでに収集した弘前藩、盛岡藩の狩猟関係史料との比較検討を通して、獣害という視点に立脚し、近世から近現代の変化を考察する。	碧祥寺博物館 (岩手県西和賀町)
		主任研究員		4月～12月
6	生田 ゆき	三重県立美術館 【三重県】	『「鎌倉芳太郎資料」再考』 琉球王朝時代に特権階級だけに着用が許された紅型は、その独特の色彩と文様で評価が高い。本研修では、沖縄県立芸術大学附属芸術資料館蔵の鎌倉芳太郎寄贈の紅型型紙1,441枚を、特に商印とサイズに着目して調査し、沖縄と本土との間の染色技法の影響関係や交易の経路を解明することを目指す。	沖縄県立芸術大学附属図書・芸術資料館
		学芸員		9月～3月
7	高橋 拓	飯豊町教育委員会 教育文化課生涯学習振興室 【山形県】	『米沢藩領を中心とした17世紀における東北窯業技術の伝播ルートの研究』 椿焼裏山窯跡を中心とした東北の近世窯跡資料と、瀬戸焼の近世窯跡資料との比較検討を行い、近世初頭における東北への窯業技術の伝播について、そのルートを明らかにし、東北全体の窯業史研究に役する。	瀬戸市文化振興財団
		文化財保護専門員		2/21～28

番号	氏名	所属機関【都道府県名】	研修テーマ	研修施設名
		役職名		研修期間
8	石丸 和正	札幌市青少年科学館 【北海道】	『アメリカの科学系博物館等における未就学児向けの展示手法・実演手法』 未就学児の来館者数が増加する昨今において、アメリカ合衆国の科学館・博物館における先進的な未就学児を対象とした展示物・実演プログラムを調査することで、当館および日本の科学系博物館の事業運営に活かす。	ハワイチルドレンズディスカバリーセンター他4箇所
		学芸課天文係長		11/27～12/8
9	小林 修二	名古屋市科学館 【愛知県】	『博物館や研究機関による最先端の科学的知見の展示・教育普及活動への反映方法について-欧州宇宙機関による探査実績を例に-』 欧州宇宙機関では、天文学に関する成果が数多く得られている。これら成果の教育普及活動や博物館展示への反映方法について実態を調査することで、最先端の科学的知見を展示等に反映させる方策を探る。	欧州宇宙技術研究センター他4箇所
		学芸課天文係主事		10/7～16
10	矢田 猛士	島根県立三瓶自然館 【島根県】	『博物館での体験学習理論にもとづいた参加体験型プログラム開発および学校教育機関との連携』 本研修の調査研究を目的に、研修先2箇所の担当スタッフへの聞き取り調査および関係資料の収集を行う。	The Lawrence Hall of Science (サンフランシスコ)他1箇所
		学芸課研究員		12/12～21
15	三津山 咲子	六甲高山植物園 【兵庫県】	『イギリスにおけるロックガーデンの形態と展示法、ロックガーデンで栽培されている植物の種類やその植物の栽培法の調査研究、イギリスにおけるナショナルコレクションの概要の調査』 六甲高山植物園のロックガーデンが今後より充実したものになるよう、高山植物の栽培法やロックガーデンの展示法を調査研究する。また、イギリスのナショナルコレクションの実態を調査して、種の保存法や栽培法を聞き取る。	イギリス王立キューガーデン、ウイズリーガーデン他12箇所
		植栽主任		7/4～12
16	三谷 理華	静岡県立美術館 【静岡県】	『ラファエル・コランとフォントネー＝オ＝ローズをめぐる調査研究』 フランスアカデミスムの画家ラファエル・コラン(1850-1916)が、パリ郊外のフォントネー＝オ＝ローズに構えていたアトリエやこの街に残した芸術の足跡について、同市文書資料室アーカイヴィストと協力して解明を試みる。	フォントネー＝オ＝ローズ市文書資料室(フランス)
		学芸課長		7/12～24

B. 博物館に関する国際交流に対する助成

応募:5件 決定:3件

助成額 1件/500,000円以内

(敬称略)

番号	博物館名	事業名等	実施場所
			実施時期
2	全国科学博物館 協議会 【東京都】	『平成27年度全国科学博物館協議会 海外科学系博物館視察研修』 研修事業の一つとして毎年実施しているもので、加盟館園から参加者を募って視察団を組織し、海外の科学系博物館を視察調査、意見交換することにより、加盟館園の職員等の資質向上を図ることを目的とする。	イギリスの代表的な 科学系博物館
	理事長 林 良博		1/10～20
3	鹿児島県立博物館 【鹿児島県】	写真展『百年の記憶 ウィルソンの見た鹿児島 の自然』 欧米で東アジア地域の植物学者として著名なE.ウィルソンが、100年前に鹿児島で撮った植物写真と同アングルの現在写真を比較展示し、自然や文化の移り変わりを読み解く写真展、講演会、現地観察会等を開催する。	鹿児島県立博物館、鹿児島 県立図書館、他
	館長 川原 裕明		9月～2月
5	徳島県立 近代美術館 【徳島県】	『開館25周年記念 「同時代のアーティストたちの表現」展』 コレクションとして既に作品を収蔵している作家の、近年の作品を借り出して展覧することで、同時代を生きるアーティストの意識や制作の変遷を辿り、コレクションへの理解を深め、同時代の美術への関心を高める。	徳島県立近代美術館
	館長 小林 功		1/16～3/21

C. 青少年の社会教育活動に対する助成

応募:29件 決定:12件

助成額 1件/400,000円以内

(敬称略)

番号	団体名【都道府県名】	事業名等	場所
	代表者名		実施時期
1	岩手県ユネスコ協会連盟 【岩手県】	『平成27年度岩手県国際交流活動研修会 ～第12回岩手県高校ユネスコ研究大会～』 県内の高校生が交流を図りながら、国際交流・国際協力を推進するユネスコ精神や地球の今日的課題から地域社会の課題まで広く学び、人々が共存していくための実践力・行動力を養うものである。	国立岩手山青少年交流の家
	会長 三田地 宣子		1/22～23
3	復興の詩プロジェクト 実行委員会 【宮城県】	『復興の詩プロジェクト』 復興への想いを詩の形で募集し、音楽家が楽曲を制作し、毎月街かどの復興支援コンサートでこれからの復興を担う青少年たちに発表してもらう。12月には総括のコンサートを実施。	①街かどチャリティコンサート(藤崎前他) ②独唱コンテスト(パトナホール) ③コンサート(太白区文化センター楽楽楽ホール)
	実行委員長 松尾 英章		①4月～11月(月1回) ②11/3 ③12/5
4	サイエンスカフェねりま 【東京都】	『「持続可能な地球社会を拓く使命感を持つ青少年の育成」プロジェクト』 サイエンスの楽しさをかきたてる話題や市民が望んでいるサイエンスの話題をテーマとして取り上げ、各分野の専門家と意見交換できる場を提供する。	公開講座:練馬区民産業プラザ研修室 ジュニアサイエンスカフェ; 石神井公園ふるさと文化館他
	代表 佐々岡 忠男		4月～2月
5	滝沢市子ども会育成 連合会 【岩手県】	『第8回たきざわ夢灯り2016』 子供たちが冬の星空の下に集い、それぞれが思いを込めて作り上げた雪洞に未来の夢を託し、一斉に点灯して心をつなげることを目的とする。また、様々な団体にも参加を呼びかけ、市内全域で実施することにより、広域性のある市の風物詩となる事業を目指す。	滝沢市役所前他
	会長 主濱 恵悦		2/13
7	特定非営利活動法人 斗南どんどこ健康村 【青森県】	『子どもふるさと体験学習プロジェクト ～古里や家族を思う心を醸成し、若い力を古里に～』 古里のために活躍する人材育成に寄与することを目的に、子どもたちに古里の歴史文化や自然体験などを通して、古里や家族が掛け替えのないものと思う豊かな社会性を醸成し、若い力を育成する。	むつ市内の郷土資料館・南部裂織り館・ふるさとまつり館他
	理事長 奈良 正義		通年
9	一般社団法人 宮城県子ども会 育成連合会 【宮城県】	『頑張れ～みやぎっ子!!』 子どもたちの豊かな心をはぐくみ、震災後、本来の子どもらしさを取り戻してもらうために、集団宿泊活動、自然体験活動を実施する。自然を利用しての沢遊びや星空観察、仲間と協力することでできる野外炊飯やグループ活動などを取り入れ、高校生のジュニアリーダー等で実行委員会を結成し指導に当たる。	国立花山青少年自然の家
	会長 熊谷 芳明		8/19～21

番号	団体名【都道府県名】	事業名等	場 所
	代表者名		実施時期
10	特定非営利活動法人 環太平洋学生キャンプ 【東京都】	『国際交流キャンプ 環太平洋学生キャンプの実施』 環太平洋地域の男子中・高生を集め、国際交流を目的としたスカラシップキャンプを行う。ホームステイや大自然の中での共同生活によって、異文化理解、友情・協力・奉仕の精神の体得、地球環境への理解等を醸成し、人格形成に貢献する。	①プレキャンプ:東京都 ②ホームステイ:山梨県 ③国際キャンプ:長野県 ④ポストキャンプ:東京都
	会長 三上 昭雄		①8/4~7 ②8/7~10 ③8/10~17 ④8/18~19
12	特定非営利活動法人 子ども育成支援団体 キハト会 【宮城県】	『もがりっこ体験教室の運営』 自分のことが自分でできるという基本、そしてお互いを認め人の痛みの解る思いやりのある人間になれるように、そして社会性を持ち自立できる大人になるように、野外体験・伝統文化伝承活動・創作活動等を提供することで、健全育成に寄与したい。将来的に、子どもの居場所「スペースもがりっこ」の創設を目指す。	大河原町・白石市など 県内各所
	理事長 岩淵 礼子		通年
13	(認定・埼玉県指定) 特定非営利活動法人 メイあさかセンター 【埼玉県】	『絵を通じての友好 Friendly Relationship Through Pictures』 学校教育と連携して、児童・生徒の絵画作品等を手段にして国際教育の糧にする。縁あってマレーシアと関連しており、複合民族の共生社会を知り、日本のカリキュラムで創造力喚起につながる。また、東日本大震災の被災者へ元気を贈る。	朝霞市・釜石市・ ペナン(マレーシア)
	代表理事 尾池 富美子		4月~5月、 8月~10月
14	芝浦工業大学 地域連携・ 生涯学習センター 【東京都】	『少年少女ロボットセミナーin 仙台 2015』 小中学生を対象に、ロボットづくりを通して、モノづくりの楽しさ、ロボットの構造などについて体験学習をさせ、日本の科学技術を担う人材育成に寄与する。	エル・パーク仙台
	センター長 小野 直樹		8/1~2
17	国立大学法人 宮城教育大学 理科教育講座 【宮城県】	『スペースラボ in 仙台市天文台』 宮城教育大学理科教育講座と仙台市天文台のスタッフが共同で「宇宙」に関する実験体験型学習を行い、児童生徒が宇宙の不思議の背景にある自然の規則性について学習し、科学への興味関心を向上させることを目指す。	仙台市天文台・気仙沼市
	教授 笠井 香代子		9月~2月(全6回)
18	国立大学法人 山形大学大学院 理工学研究科 【山形県】	『モバイルキッズ・ケミラボ2015+』 理科教育の振興と豊かな人格形成および人材育成を図るため、山形大学大学院理工学研究科教職員の有志と米沢市教育委員会の連携のもと、小中学生を対象とした理科実験教室や各種イベントでの実験教室を開催する。	米沢市理科研修センター他
	准教授 木島 龍朗		5月~12月

D. 文化及び芸術等の振興に対する助成

応募:36件 決定:12件

助成額 1件/400,000円以内

(敬称略)

番号	団体名	事業名等	場所
			実施時期
3	一般社団法人 仙台オペラ協会 【宮城県】	『2015仙台オペラ協会創立40周年記念公演 「カルメン」』 当協会創立40周年に当たり、広く親しまれているG.ビゼー作曲のオペラ「カルメン」を公演し、オペラの普及と地域の音楽文化の振興に寄与する。	東京エレクトロンホール宮城
	会長 藤崎 三郎助		9/5～6
4	佐取純子モダンバレエ スタジオ 【宮城県】	『創作舞踊LEGEND～小説「義経になった男」より』 岩手県金ヶ崎町在住の作家平谷美樹さんが、世界遺産の平泉文化の栄枯盛衰と源義経の数奇な運命を描いた小説(河北新報に連載)を創作舞踊で表現する。昨夏に上演し、再演を望む声を受け、演出を変えて上演する。	仙台市宮城野文化センター シアターホール
	スタジオ主宰 佐取 純子		8/2
5	N-ovalビル音楽サロン 【宮城県】	『N-ovalビル音楽サロン monthly concert-Monday afternoon-』 クラシック音楽の啓蒙、情操教育の一環として、仙台の一般市民に生きた音を味わって頂くためと、地元若手演奏家の活動の場を提供することとともに育成を兼ね、クラシック音楽コンサートを定期的に開催する。	N-ovalビル一階 オープンスペース
	代表 野口正一		毎月2回 月曜日
9	認定NPO法人 山形国際ドキュメンタリー映画祭 【山形県】	山形国際ドキュメンタリー映画祭2015・ 東日本大震災記録映画特集上映プログラム 『ともにあるCinema with Us 2015』 映画祭にて、東日本大震災記録映画の上映及び市民参加のディスカッションやシンポジウムを行う。災害と被災者の現状への人々の意識を高め、震災の記憶や教訓が広く次世代に継承されていくことを目指す。	山形美術館
	理事長 大久保 義彦		10/8～15
10	チルコロ・マンドリニスティコ・フローラ 【宮城県】	『チルコロ・マンドリニスティコ・フローラ創立50周年記念事業』 創立50周年記念公演として、マンドリンの世界的名手ドリナ・フラティ氏と、チェンバロ奏者ダニエール・ロイ氏を招聘し、当方とのジョイントによるマンドリン芸術の祭典を開催。宮城県、更には日本中にマンドリン音楽を広く浸透・発展を期す。	日立システムズホール仙台 (仙台市青年文化センター)他
	主宰 高橋 五郎		9/23・25・26
15	仙台短篇映画祭 実行委員会 【宮城県】	『ショートピース！仙台短篇映画祭2015』 主に仙台で上映される機会の少ない国内外の短篇映画や自主制作作品の上映を行うことで、来場する人々に映画や映像の面白さを体験してもらえるような場所を作ることを目的としている。	せんだいメディアテーク
	委員長 相原 洋		9/20～22
16	東北大学学術資源 研究公開センター 植物園 【宮城県】	『平成27年度東北大学植物園公開市民講座 —Schola Botanica 2015—』 学内外の研究者を招き、一般向けの植物学およびその関連分野に関する講座を開講し、植物学の普及および地域の社会教育事業の一翼を担う。自然史講座「日本の森林の成り立ちと多様性」を全6回、植物画講座2回を企画。	植物園講義室
	植物園園長 中静 透		5月～11月 8回

番号	団体名	事業名等	場 所
			実施時期
18	公益社団法人 宮城県芸術協会 【宮城県】	『第52回宮城県芸術祭』 県民に対し広く芸術文化の鑑賞機会を提供するとともに、人材育成を目的とした絵画・工芸・書道などの公募展やピアノコンクールを実施し、宮城県における芸術文化の振興発展に寄与する。	せんだいメディアテーク他
	理事長 大場 尚文		9月～3月
23	ぐるぐるはためきアート 展実行委員会 【神奈川県】	『ぐるぐるはためきアート展 白楽・妙蓮寺編』 芸術創造力を地域に活かすことが趣旨。小学生や大人が描くアートフラッグを街中に掲揚し、地域内の芸術気運を高め、芸術作品の発表・販売を行うアートエリアを形成し、幅広い世代がつながりを実感する場をつくる。	横浜市立 白幡小学校他
	実行委員長 宮川 真治		10月～11月
26	宮城学院女子大学 リエゾン・アクション・ センター 【宮城県】	『「心に花を」プロジェクト -音楽科生による被災地域コミュニティ支援-』 東日本大震災以来、音楽科学生が実施してきた慰問演奏会を発展させた活動。被災者と日常のなかでともに歌い、音楽に触れる機会を設けることで、心の支援への貢献と住民同士のコミュニケーション形成に寄与する。	宮城県内の仮設住宅地他
	准教授 木村 春美		6月～3月
28	東北マーチング・バト ントワーリング活性化 実行委員会 【宮城県】	『NorthBeat～マーチング・バトンの祭典～』 東北地方に在する社会人・学生を含む一般マーチングバンドおよびバトントワーリングの団体に、演技を発表する機会を提供するとともに、音楽・芸術からの復興、地域活性化、マーチング・バトン界の活性化を目指し、広く一般市民に公開する。	調整中
	実行委員長 飯倉 亨		2月
36	塩竈フォトフェスティバ ル実行委員会 【宮城県】	『塩竈フォトフェスティバル2016』 塩竈市の活性化、写真文化の更なる興隆を目的とした写真フェスティバルの第5回目。今回は、震災を経てそのあり方を誰もが考えたであろう「家族」をテーマに展開する。初めて海外からのゲストを迎え、家族と写真について考える。	ふれあいエスプ塩竈、亀井邸他
	実行委員長 平間 至		3/5～20